

「海外で戦争する国」にする 集团的自衛権行使容認に反対します

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

【要望趣旨】

安倍政権は7月1日、国民多数の声に背いて、集团的自衛権行使容認を柱とした「閣議決定」を強行しました。

「閣議決定」は、「憲法9条のもとでは海外での武力行使は許されない」という従来の政府見解を180度転換し、「海外で戦争する国」への道をひらくものです。

こうした憲法改定に等しい大転換を、与党の密室協議を通じて、一片の「閣議決定」で強行するなどというのは、立憲主義を根底から否定するものです。

私たちは、憲法9条を破壊する歴史的暴挙に抗議し、以下のことを求めます。

【要望事項】

- 一、集团的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回すること。
- 一、集团的自衛権行使のための立法措置をおこなわないこと。
- 一、日本国憲法第9条を守り、生かすこと。

氏名	住所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】 お手数ですが、この署名は、最寄りの共産党事務所にお届けいただくか、下記にファックスしていただくようお願いいたします。日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115

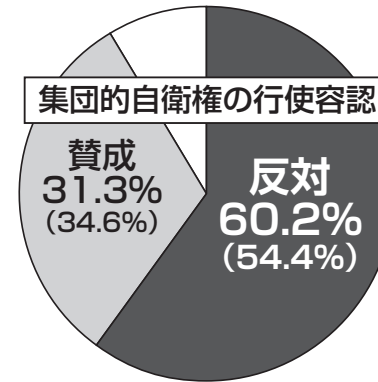
しんぶん赤旗

日刊 3497円
日曜版 823円

お申し込みはお近くの党事務所または党員か上記の近畿ブロック事務所へお願いします

再び「戦争する国」許しません 日本共産党

8月15日
終戦記念日



共同通信8月2、3日調査
(カッコ内は7月調査)

反対さらに広がる
反対は賛成の倍近くに
20～30代は69.7%が反対



日本が朝鮮半島や中国を侵略して始め、ついには世界を相手に戦うことになったアジア・太平洋戦争。2000万人を超えるアジアの人びと、310万人以上の日本国民が犠牲になりました。戦争の悲劇を繰り返さないことが日本国民の決意です。

いつか来た道 歩むまじ

安倍政権が閣議決定した集团的自衛権の行使容認は、日本への武力攻撃がなくても他国のために武力行使する=海外で戦争することです。閣議決定の撤回、戦争する国づくりへの立法作業中止を求めます。

いま戦争か平和かの歴史的岐路です。いつか来た道を歩まぬため、力を合わせましょう。

焼き場に立つ少年 1945年長崎。亡くなった弟を背負い直立不動で火葬の順番を待つ少年。(撮影：ジョー・オダネル氏)

近畿民報

2014年8月 No.2(第165号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。